

## 第23回秋田県障害者技能競技大会

アビリンピックあきた2024

### ～ アビリンピックとは ～

正式名称は「全国障害者技能競技大会」ですが、通称の「アビリンピック」として親しまれています。アビリティ(能力・技量)とオリンピックを掛け合わせた言葉です。オリンピック同様に世界大会も開催されています。

秋田県で金賞(1位)を獲得すると秋田県代表として全国大会へ、全国で金賞を獲得すると日本代表として世界大会へ繋がる、とても大きな大会です。

競技種目はワード・プロセッサ、表計算、データ入力といったパソコンスキルに関する種目と、喫茶サービス、ビルクリーニング、写真撮影、木工、縫製などの種目があります。



### ～ ゆり支援学校の出場選手 ～

本校高等部の作業学習で取り組んでいる、事務・デザイン班とビルクリーニング班の生徒が出場しました。大会1週間前の放課後には毎日のように学校に残って練習をしていましたが、もちろんそれだけでは足りません。日々の学習を積み重ね、本当の実力として身に付けた力でなければ、与えられた課題に対応することはできません。

ゆり支援学校の代表としてだけでなく、秋田県代表となる可能性がある大会なので、技術・技能面だけでなく、待ち時間の行動や態度面も重視して学習しています。また日々の学習を発表する場でもあるので、これからの学びの充実・期待を込めて選手選考をしています。

出場した5名の選手は、長時間の緊張と集中が求められる中、最後まで諦めずに課題に取り組んでいました。惜しくも上位入賞とはなりませんでした。それぞれの課題に気付き、悔しさもありつつやり切った充実感の交わり合う、とても良い表情を見せてくれました。

# 職員進路研修会

夏季休業中2日間の日程で、職員進路研修（事業所見学）を行いました。今回は、児童生徒が利用している放課後等デイサービスや日中一時支援、そして卒業生の進路先であり、かつ高等部生の現場実習先である一般企業や福祉サービス事業所を見学しました。卒業生の働く様子や児童生徒の夏休みの過ごし方を見ることができ、有意義な時間となりました。

見学を通して、卒業生がどんな仕事に従事しているか、企業や事業所はどんな人材を求めているかなど、在学中の児童生徒の進路指導に役立つ貴重な話を聞くことができました。保護者の皆さんにも参考にさせていただいたら幸いです。

## 一般就労（障害者雇用）で働く先輩の仕事

由利工業：コンデンサ製造、精密洗浄※ 卒業生は、トイレ、食堂等の清掃、現場での清掃作業から。  
 プリマ食品：製造～肉の切り分けなどの原材料処理、加熱、調味、パック詰め、包装など。  
 プレステージにかほ：コールセンターへの問い合わせ内容のシステム入力、業者への依頼



## どんな人を採用したいか？（一般就労）

- ・素直で、自分で勝手に判断しない。勤務時間厳守すること。言ったとおりに仕事をする。指示を聞くことができる。
- ・周囲とコミュニケーションをとる。自分で考えて動く。体力がある。集中力がある。
- ・困っている人を助けたいという思いやりがある。分からなくてもやってみようという思いがある。



## 就労継続支援B型で働く先輩の仕事

コロニー：PC解体、スノーポール作り、パン作り、農作業 など。  
 逢い：魔法の鉢作り、自販機補充などの施設外労働、介護施設の洗濯、創作活動  
 和：配食サービス～弁当の調理や盛り付けなど、軽作業～包帯づくり、ポリパック  
 ほのぼの本荘：喫茶「ポレポレ」の注文を受ける、配膳・下膳、フルーツキャップ、袋織り、  
 プリンターのクリーニングキット箱詰め、工業製品のバリ取り、組み立て、  
 業者から委託されたDMをPCを使って送信等々 多岐に渡っている。  
 さん・とらっぷ：農作業(花、野菜、米)、同法人施設の環境整備活動、裁縫、地域企業の受託作業



## どんな人を採用したいか？（就労継続支援B型）

- ・他者とうまくやっていけること。報告、連絡、相談ができること。
- ・スマホ利用について、男女の性について等、社会性を身に付けてきてほしい。
- ・それぞれの過ごし方をしている場なので、あまり他者と関わりすぎないこと。
- ・困ったことがあったときに発信できること。少ない支援で行動できること。



## ● 職業準備性ピラミッド

保護者アンケートや面談等で「将来のためにどんな準備をしたらいいのかわかりません」というような内容のご質問をいただきます。

右の図は「職業準備性ピラミッド」といい、就労に必要なスキルや資質を階層的に示したモデルです。将来安定した就労を目指すには各層がしっかり備わっていることが大事になります。

また図から分かるように、土台がしっかりしていないと不安定なピラミッドとなり、崩れてしまいます。

小・中学部段階からまずは身の回りのことなど土台部分をしっかりさせていくことが必要です。そのためにも、普段から好きなものや得意なことを増やし、次に挑戦しようという気持ちをもつことがとても大切です。

